

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東松山市子育て支援センター運営委員会					
開 催 日 時	令和6年3月13日(水)			開 会	午前10時00分	
				閉 会	午前11時30分	
開 催 場 所	東松山市子育て支援センターソーレ きりん1・2					
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 協議事項 東松山市子育て支援センターソーレ・マーレの管理運営について 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	1人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	大塚 綾子	出席	委 員	川上 さやか	出席
	副会長	杉浦 裕美	欠席	委 員	原口 智美	出席
	委 員	堀 綾	出席	委 員	柿田 和子	出席
	委 員	小高 淑美	出席			
事 務 局	子育て支援課長 大石 和夫			マーレ副所長 小笠原 里香		
	子育て支援課主事 高田 慧美佳			㈱コマーム 第2事業部マネージャー 木村 美紀子		
	マーレ所長 平塚 千寿加					
	ソーレ所長 北村 満子					

次 第	顛 末
1 開 会	事務局：大石課長
2 挨 拶	大塚会長
3 協議事項	<p>(大塚会長)</p> <p>それでは、議事に入らせていただきますが、その前に2点、議事録の署名委員と会議の公開について確認させていただきます。</p> <p>まず、本日の議事録に署名いただく委員を指名させていただきます。堀委員と川上委員をお願いいたします。</p> <p>次に、会議の公開についてですが、本日の協議事項は、非公開とする協議事項はなく、公開としたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>(大塚会長)</p> <p>それでは、本会議は公開とします。</p> <p>事務局にお伺いしますが、本日は、傍聴希望者はいますか。</p> <p>(事務局：大石課長)</p> <p>1名おります。</p> <p>(大塚会長)</p> <p>それでは、傍聴人の入室をお願いいたします。</p> <p>—入室—</p> <p>傍聴人は傍聴要領に従って、傍聴されるようお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に進みたいと思います。</p> <p>議事の東松山市子育て支援センターソーレ・マーレの管理運営について事務局より説明をお願いします。</p>

(事務局：平塚所長)

— 1 ～ 10 頁に基づき、ひろば事業、つどい事業、相談事業、  
情報提供事業について説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。ここまでで、ご意見等ありましたらお  
願いします。

(川上委員)

月間のスケジュールをホームページに載せていてとてもよい取  
組だと思えますが、現在、子育てナビというアプリに電子入館証  
がありますので、そのアプリと月間のスケジュールを連携させる  
ことはできますか。アプリ内で月間スケジュールを見ることがで  
きればいいなと思いました。

(事務局：大石課長)

アプリを委託している業者と調整して、早急に対応が可能であ  
れば対応したいと思っております。

(大塚会長)

利用者の意見を参考にすると一層使いやすくなるかと思いま  
すので、対応が可能でしたらお願いします。ほかにはいかがですか。

子育て講演会の赤ちゃんの足と靴について参加させていただ  
いたのですが、乳幼児期の足の発達について知ることができました。  
専門家にお話を聞く機会はなかなかないので、いろいろな話が聞  
けてよかったと思いました。利用者からこういうお話が聞いてみ  
たいという声に応じていくのが、今後一番よいと思います。利用  
者から、知りたいことなどあれば教えていただけますか。

(川上委員)

以前トイレの講座を聞いて、精神的に楽になりました。月齢に  
合わせた講座が揃っていると思います。

(小高委員)

寝られないことがよくあったので、夜泣きが改善する方法などを教えてもらえたらよかったかなと思います。

(川上委員)

今週、2歳児歯科健診があり、保健センターに食事のメニュー例や幼児食の実物が置いてありました。私は何品もあげていましたが、栄養士の方が組まれている献立には一つの品にいろいろな栄養が入っていて、この食事でいいんだという発見がありました。写真でもよいと思うので、実物の写真が貼ってあるとよいのかなと思いました。離乳食の写真は貼ってあるのを見たことがあったので、その月齢後のメニューがあるとよいと思いました。

(大塚会長)

食べることに関しては悩みが尽きないですよ。

(小高委員)

最低限これくらい野菜をとれるとよいとか、どの野菜にどのくらい鉄分が含まれているのかとかわからないので、そのようなことを知りたいです。

(事務局：平塚所長)

幼児食は好き嫌いがはっきり出てくる頃ですので、悩みの突破口がほしいですよ。

(大塚会長)

夜泣きに関しては、子どもの生体に係る専門家から子どものからだの仕組や眠くなる仕組などを教えてもらうことで、自分のせいじゃないんだと気が楽になったり、その子のそのままと認めてあげるんだという気持ちになると思います。

ほかの事業についていかがでしょうか。それでは次の説明をお願いします。

(事務局：北村所長)

— 11～17頁に基づき、子育て支援事業、地域交流事業、オンライン事業、感染症への対応、防災、みんなの声聞かせて BOX に投函されたご意見について説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。ここまででご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

マーレでのリサイクル交換会に引き続き、ソーレでリユース会を開催し、今後発展していく予定かと思うのですが、どのように発展していく予定ですか。

(事務局：北村所長)

今年度、マーレのリサイクル交換会では予約制で開催しましたが、ソーレのリユース会では当日受付順とし、3交代制にしました。服は3回に分けなかったのですが、おもちゃは3回分に分け、どの回にきても残り物にならないよう工夫をしましたが、受付順だと朝どうしても並ぶ方はいましたので、今後はもう少しその点を周知していきたいと思います。また、利用者の意見を聞いて、改善していきたいと思います。

服が残ってしまうのではないかと心配していましたが、無料なので皆さん持っていってくれました。もらった服を着て来館してくれたり、写真を見せてくれたりします。家で使っていない物もリユースできるという事前の周知を今後もしていきたいです。

(川上委員)

マーレのリサイクル交換会に続いて、ソーレのリユース会にも参加しました。子どもは私が買わないようなおもちゃを選んでいて、家での遊びの幅が広がったことがよかったと思います。洋服に関して、あの規模で実施するのはとても大変だったと思うのですが、なかなかお買い物にも行けないことがあるのでお買い物気分になり、親はとても楽しかったです。家で保管している物をほかの人にお譲りできるのは、とてもよい機会だと思います。子どもが大きくなり利用できなくなると少し寂しく感じます。実施に

あたりとても大変だと思うのですが、実施回数が増えたらいいなと思います。

(大塚会長)

各施設で年2回ずつの実施は考えていますか。

(事務局：北村所長)

服は集まるのですが、おもちゃがなかなか集まらないので、もう少し周知をしたいと思います。服は提供しやすいかと思うのですが、おもちゃはなかなか提供しづらいのかと思います。

(柿田委員)

おもちゃは汚れるじゃないですか。汚れて出しにくいと思う人いるんでしょうね。

(川上委員)

子どもがよくおもちゃを口にしてしまって、ボロボロになったりするので、ちょっと出しづらいというのもあります。リユース会で子どもが結構ボロボロな本を選んだのですが、家や車でよく読んでいたり、そこから言葉が出てきたりもしました。物の状態の目安などが目に見えてわかると、もう少し持っていきやすいかもしれないですね。

(小高委員)

消毒をちゃんとしてあれば大体大丈夫な気がします。

(事務局：北村所長)

今回午前中にリユース会を実施し、午後は自由に服などを持って行ってもらいました。それでも残った物は玄関などに置き自由に持って行ってもらうようにしたところ、きれいになりました。また、赤ちゃんの服が残っていたりしないかと主任児童委員から言われた時に、残った服からお渡しができたので、循環できていることがとてもよかったですと思います。来年も実施していきたいです。

(大塚会長)

ほかにはいかがでしょうか。

(事務局：大石課長)

防災のところですが、避難方法だけでなく、避難所に入った場合の子育て世帯の過ごし方などを伝えたり、意識づけができればよいと思いました。

(事務局：平塚所長)

以前高坂地区で水害があり、意識が薄くなってきているかと思うのですが、主任児童委員などの力を借りて、おむつやミルクなどを集めて被災者に取りに来てもらうことができました。

水害の被害が落ち着いた後、水害に特化していますが、子育て世帯へのパンフレットを作成し、避難訓練時、利用者にはパンフレットやハザードマップで避難場所の確認や避難所に行くまでの道を確認してくださいとお伝えをしています。パンフレットには、避難所にどのような物があるか、自身で用意しておくものなど、利用者の経験を聞いて参考にしたものを記載しています。しかし、徐々に風化しており、パンフレットがありますと伝えてもパンフレットを持っていく方は減ってきているので、月1回の避難訓練の中で、アピールしていきたいと思います。

(大塚会長)

避難所には何があって、自分たちで何を持っていく必要があるのかわかるだけで安心感が違うと思います。

(事務局：平塚所長)

水害後から避難所の備蓄品も変わってきているかもしれないですし、新たな情報を聞いて更新していきたいと思いました。ありがとうございます。

(柿田委員)

水害が起きたときに、2回、お子さんをお預かりしていたこと

があります。婦人会の方がおにぎりを作ってきてくれました。また、パスタが便利という声があり、パスタを持ち寄ったこともありました。そのような状況の時に何が必要なかわからないですよ。子どもたちもパパママと離れて我慢してきているから、かなり精神的に厳しいところがあり、食べないという子もいるんですよ。私はパンにジャムなどを塗り巻いて飴のように包んで持っていたところ、1歳半の子が遊びながら食べてくれて、思いがけないことで喜んでくれました。

(大塚会長)

いろいろな防災用の食品ありますが、そういう時に限って喉に通らないことがあると聞いたことがあります。普段食べている食品もやっとなら喉に通るくらいだから、正直アルファ米を食べてもきついですよね。なおさら子どもは味覚が敏感だから、身近な食品で何があるかわかっておくとよいですよ。

ほかにはいかがでしょうか。赤ちゃん抱っこ体験についてですが、先日、保育士養成校の先生と同じ研修に参加しました。子どもに触れたことがないから保育士などの職業になりたいと思う子が育たなく、保育士不足となってどの園も定員割れをしている状況の中、どうしたら子どもと関わる仕事がしたいと思う人が増えるかという議題がありました。東松山市の赤ちゃん抱っこ体験の話をした時に、知っていますという声があったり、当事業が有名という話を聞き嬉しく思いました。赤ちゃんに触れることや心からかわいいと思えるきっかけがあることで、子どもと関わることに興味をもつことに繋がると思います。私自身、中学校の職業体験で仲よし保育園に行きここで働きたいと思い、保育士になろうと思いました。多感な時期なので、何で芽生えるかがわからない時ですよ。赤ちゃん抱っこ体験をきっかけに、子どもに関わる職につきたいという人が増えてくれるといいですね。

(事務局：マーレ所長)

高坂小学校の子が施設見学に来てくれた際、担任の先生自身が子育て中にソーレに来ていて私自身の言葉に救われたと言っていました。その担任の方は、親や先生以外の人に褒められて色々な

ことに頑張るようになったと言ってくれていました。地域の人に触れるというのは、いろいろな場面で必要なのかなと思いました。そのため、施設見学の受け入れをコロナ禍前まで戻していきたいと思います。

(大塚会長)

地元の繋がりが嬉しいですね。

みんなの声聞かせて BOX に投函された意見で、小学生の遊び場がなくて困っているという声がありましたね。

(事務局：大石課長)

児童館とかあれば一番良いのですが、今なかなか箱ものをつくることは財政的に厳しいところがあります。ただ少し意味合いは異なりますが、市民活動センターでのイベントを企画していますので、そういったイベントに小学生が参加していただければと思います。

(大塚会長)

昔は松山市民活動センターで子どもまつりという盛大なイベントがあり、子どものころ楽しかったのを覚えています。そういったイベントが年に数回あるといいですね。

(事務局：大石課長)

そういったイベントもコロナ禍後徐々に考えているところです。今後の検討課題にしたいと思います。

(柿田委員)

愛育会は年に1回、小学生とその保護者、祖父母に参加してもらう3世代交流会があります。コロナ禍前は、ご飯などを作って楽しく遊んでいました。今年は野本で飲食なしで実施しましたが、インフルエンザ等の流行で当日少し人数が減りました。

(大塚会長)

伝承遊びなどいろいろな遊びを知っている世代と関わりながら

子どもが遊ぶ機会は大切ですよ。

それでは次の説明をお願いします。

(事務局：北村所長、平塚所長)

— 18～21頁に基づき、令和5年度年間事業実施報告、入館者数、利用者統計について説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。ご質問ご意見などありますでしょうか。保育園の支援拠点も市外の方が増えていて、コロナ禍より足を運んで来てくれていると感じます。

そのほかいかがでしょうか。それでは次の説明をお願いします。

(事務局：北村所長、平塚所長)

— 22～27頁に基づき、アンケートについて説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。アンケート内容について何かご質問・ご意見などありましたらお願いします。

(川上委員)

どんな講座を開催したらいいのか、今回のアンケートに答えが出ているかと思います。以前、支援センター内でおもちゃを他の子に取られてしまって、自分の子がよく泣いてしまったり癩癩を起してしまったり、どのように対応したらよいかと北村所長に相談したところ、自分の子が他の子におもちゃを取られたら、はっきり「今使っているから取らないでね」と子どものためにも言っていていいという答えがきけたことがよかったです。取った側の保護者は見ているだけという場合もあるので、そのような答えがほかの保護者に共有できる場があったらより過ごしやすくなるかと思いました。

(大塚会長)

例えば漫画形式で、「まだ使ってるから次貸すね」など、このよ

うに声掛けしてみてもと掲示してあるといいですね。

(川上委員)

講座でなくてもかべ新聞での掲示でもいいかもしれないですね。

(大塚会長)

わが子には我慢させてしまいますよね。でも子どものためにも共有していけるといいですね。気遣いなどの面から緊張感を持ってしまい人数が多いソーレ・マーレに行きづらいと思っている方が小規模の拠点に来たりするんですよね。アンケートにたくさんヒントが入っているので、とてもよいアンケートだと思います。そのほかいかがでしょうか。

(堀委員)

幼稚園に入る年齢になる前にいろいろな環境の中で言うことで、幼稚園などに入った時に嫌なことは嫌と言えたり、これはお友達のだからごめんねと言えたりすると思います。幼稚園でも我慢してしまう子もいたり、自分の物のように使いたいから貸してと言ってしまう子もいます。子ども保護者もいろいろな人と関わるのができるのがソーレ・マーレやそのほかの支援拠点だと思いました。

(大塚会長)

子どもが目の前にいないと起こらないことだから、やはり子どもがたくさんいる場に来て起こることで学べることもあるんですね。

(堀委員)

保護者自身も言った方がいいなと思ったら勇気をもつとよいと思いました。

(大塚会長)

ほかにはいかがでしょうか。それでは次の説明をお願いします。

	<p>(事務局：北村所長、平塚所長)</p> <p>— 28、29頁に基づき、令和6年度年間事業実施計画について説明—</p> <p>(大塚会長)</p> <p>年間事業実施計画について、質問などありますでしょうか。無いようでしたらこれですべての議事を終了とし、議長の役を下ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
4 その他	
5 閉会	事務局：大石課長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和6年 4月 9日 署名委員 <u>堀 綾</u></p> <p>署名委員 <u>川上 さやか</u></p>	